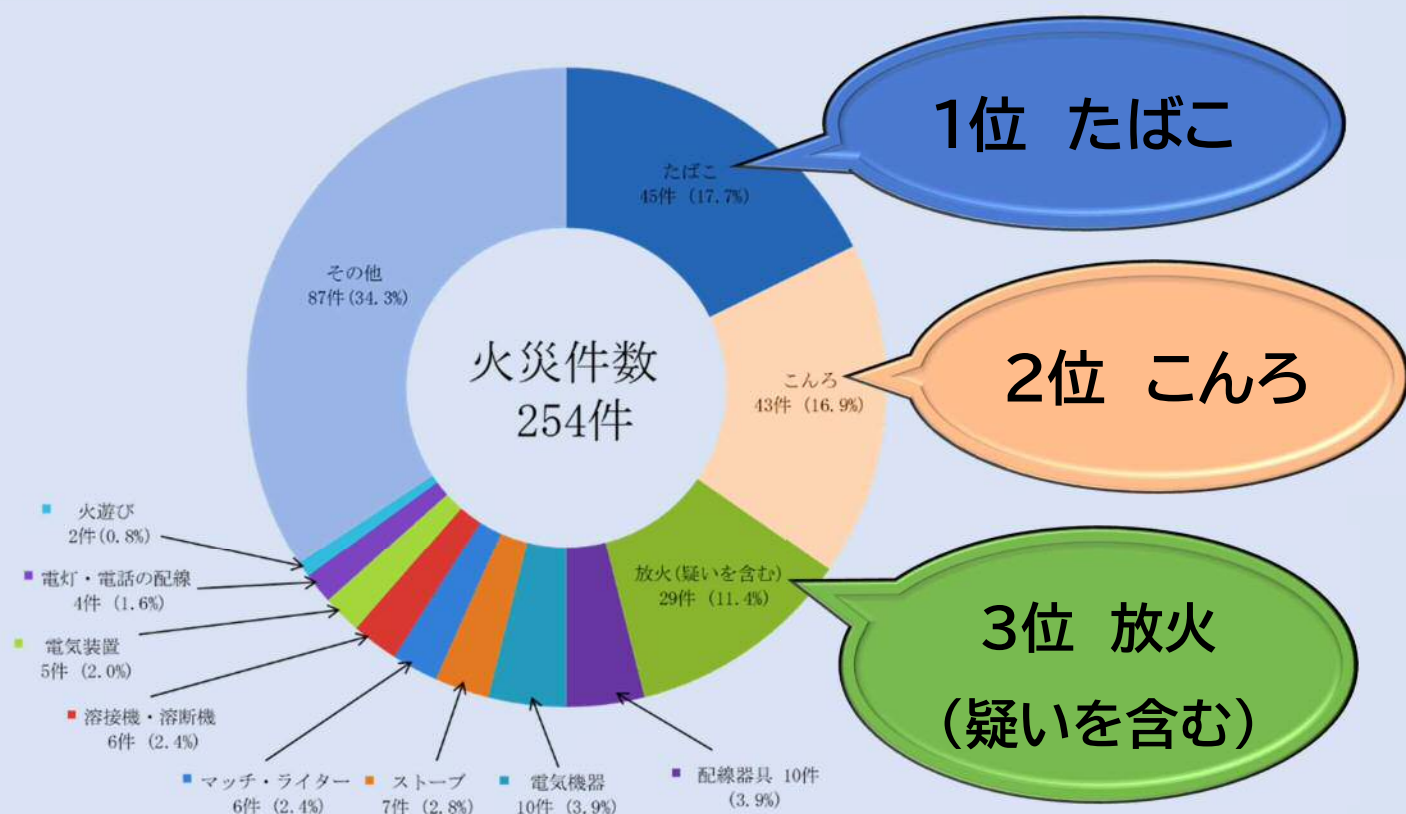




名古屋市の火災状況の答えはこちら

Q3. 名古屋市内における令和2年上半期の火災発生原因トップスリーは何ですか？

答え： 1たばこ 2こんろ 3放火(疑いを含む)



たばこ火災対策

寝たばこは非常に危険です！

ご自宅で寝たばこをしていませんか？
ふとんに落ちた火種は炎がでないままくすぶり続け、気が付かないうちに燃え広がることがあります。
以下の事に気を付けましょう。

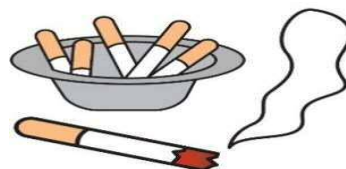
絶対にふとん・ベッドでたばこを吸わない！
ふとんやベッドの近くに灰皿を置かない！



火の始末は確実に！！

空き缶などを灰皿代わりに使用をし、出火した事案もあります。また、消したつもりなたばこの火が、まわりのモノに燃え移り火事になることもあります。

必ず、灰皿を使用するようにしましょう！
灰皿には水を張り、確実に消火しましょう！



こんろ火災対策

ガスこんろの買い替えを検討してください！

Siセンサー付コンロは、鍋底の温度が約250℃になると自動的に弱火になり、油の自然発火を防ぎます。

IH調理器やSiセンサーなどの安全装置が付いたこんろへ買い替えを検討してみましょう。



Siセンサー

調理中の火災にご注意ください！

新型コロナウイルス感染症の拡大により、自宅で過ごす時間が増えたのではないのでしょうか？趣味で料理を始めた方もいるのではないのでしょうか？

そのためか、今年は調理中に服に火が着火する事故が多発しています。

以下の料理中の火災予防ポイントに注意して安全に料理を楽しみましょう。

- ①離れない(調理中はその場を離れないでください。)
- ②着ない(袖や裾がひろくゆったりとした服は火が燃え移りやすいです。)
- ③置かない(コンロの近くに燃えやすいものを置かないでください。)



放火火災対策

戸締りは確実に！

物置や車庫などは、外部から簡単に侵入できないように、必ずカギをかけておきましょう。



可燃物を自宅周りに置かないでください

家のまわりはいつも整理整頓し、段ボールなどの可燃物は置かないようにしましょう。また、共同住宅の廊下、階段などの共用部分には物を置かないようにしましょう。

